

7年産

「人参」Yes! Clean栽培基準

品 種 名	アロマレッド	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月																																														
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																																												
目標粗原反収	4,000kg	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">基本作業</td> <td rowspan="5">圃場準備</td> <td colspan="9">播 種</td> <td colspan="9">被 覆</td> <td colspan="9">中 耕 培 土</td> <td colspan="9">防 除</td> <td colspan="9">収 穫</td> </tr> </table>																														基本作業	圃場準備	播 種									被 覆									中 耕 培 土									防 除									収 穫								
基本作業	圃場準備																																	播 種									被 覆									中 耕 培 土									防 除									収 穫								
																																		目標製品反収	2,400kg																																											
																																		播 種 時 期	4月下旬～7月中旬																																											
																																		定 植 時 期	—																																											
		収 穫 時 期	8月上旬～11月上旬																																																																											

【施肥基準(Yes! Clean基準上限)】

肥料名	施用量	要素量(kg/10a)			
		N	ON	P	K
S 121	70kg	7.0		14.0	7.0
S 708(有機質肥料)	70kg	2.8	2.1	7.0	5.6
合 計		11.9		21.0	12.6

※ 堆肥が施用できない場合は、必ず上記の「有機質肥料」を基準量施用する。

【農薬使用基準】

項目	適用病虫害名	農薬名	使用濃度(倍)	10a当り薬量(水100l)	適正使用基準		成分カウント	RACコード*
					使用時期	回数		
殺虫剤	キタネグサレセンチュウ	バイデールL粒剤	—	全面30kg	は種前	1	1	I:1A
	ヨトウムシ	フローバックDF	1,000	100g	前日(発生初期)	—	—	I:11A
	ヨトウムシ・アブラムシ類	ゲットアウトWDG	3,000	33g	7日	2	1	I:3A
殺菌剤	黒葉枯病	ロブラール水和剤	1,000	100g	14日	4	1	F:2
		ストロビーフロアブル	2,000	50ml	7日	3	1	F:11
		ダコニールエース	750	133ml	7日	5	1	F:M5
		クプロシールド	1,000	100	—	—	—	F:M1
		コサイド3000	500	200g	—	—	—	F:M1

【Yes! Clean窒素施用量基準】

① 総窒素施用量(化学肥料+有機質肥料)は最大で 12kg/10a
② 化学肥料施用量は最大で 10kg/10a
③ 有機質肥料施用量(最大) = 12kg - 化学肥料施用量
④ 上記の他に、堆肥による施用窒素量は最大で3kg/10a

項目	適用雑草	農薬名	10a当り薬量	使用時期	回数	カウント	RAC
除草剤	一年生雑草	ゴーゴーサン乳剤	300ml	播種後出芽前	1	1	H:3
		ロックス	150g	人参3～5葉期(収穫30日前まで)	1	1	H:5
	一年生イネ科雑草(スズメカサネを除く)	ナブ乳剤	200ml	イネ科雑草3～8葉期(収穫14日前まで)	1	1	H:1
		ポルトフロアブル	300ml	イネ科雑草3～8葉期(収穫45日前まで)	1	1	H:1

【土づくり】

1. 完熟堆肥(牛ふん麦稈堆肥で3t/10aまで)の施用を基本とする。	4. センチュウ診断を実施する。
2. 適正輪作の実施。(例:豆類 → 馬鈴薯 → 小麦(後作えん麦野生種) → 人参)	5. 小麦の後作にセンチュウ対策として、えん麦野生種を栽培する。
3. 土壌診断を実施し、適正施肥を行なう。	

【Yes! Clean農薬成分回数基準】

- ロックスを基幹防除とする。
- 防除基準内で発生状況に応じ、**総成分回数で4回まで**使用可能。
- クプロシールド、コサイド3000、フローバックDFは、農薬の成分回数としてカウントしない。